

# 各地区業況アンケート結果（30年3月調査分）

（30年3月26日）

全国鉄鋼販売業連合会

3月23日締切で、当会役員151名に対しこのアンケートを行ったところ69名の回答があり（回答率45.7%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※  $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、（数は回答実数）

## 1. 売上数量、前年同月比増4割弱

問1】貴社の2月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	13	14	26	8	8	69	68
比率	19%	20%	37%	12%	12%	DI+23	DI-19
売上金額/前年同月比	23	16	18	3	8	69	68
比率	34%	24%	26%	4%	12%	DI+63	DI+29

## 2. 赤字企業2割

問2】貴社の2月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	20	23	12	9	5	69	67
比率	29%	33%	18%	13%	7%	DI+64	DI+33

## 3. 仲間取引が減少傾向

問3】貴社の営業窓口から見て3月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向	2	9	27	9	2	49	±0	+8
民間建設向	4	14	33	5	2	58	+22	+24
自動車向	1	8	24	2		35	+23	+24
その他需要家向	2	18	35	6	1	62	+23	+29
仲間取引	1	7	35	14	1	58	-12	-7
計	10	56	154	36	6	261	+11	+15
比率	4%	21%	59%	14%	2%			

## 4. 第1四半期落ち込みはないが、横這いか微増程度

問4】貴社における向う4月から6月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	4	26	33	4	1	68	66
比率	6%	38%	48%	6%	2%	DI +41	DI +68

## 5. タイト感薄れる

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	品種別	A	B	C	D	E		3月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
-21	-28	-17	-31	-24	-29	-20	-19	-11	10	8	-4	鉄筋用丸鋼		1	19	3	1	24	-17
-11	-7	-8	-14	-3	-13	-13	-13	-6	3	-4	7	構造用丸鋼		5	22	2		29	10
-7	-7	-7	-11	-12	-9	-5	-9	-3	3	0	0	平角鋼		1	24	4		29	-10
21	7	4	-18	0	0	15	22	29	38	25	22	H形鋼		4	19	2		25	8
-4	0	-5	-16	-26	-13	0	21	32	54	29	48	コラム		4	13	2		19	11
-3	-3	-7	-10	-16	-13	0	-8	-6	11	19	3	小形山形鋼	1	1	25	3		30	0
-12	-6	-10	-26	-19	-16	-5	-5	-5	6	-7	0	中形山形鋼			26	4		30	-13
-12	-9	-10	-24	-22	-5	3	-3	0	11	0	-3	溝形鋼		1	26	2		29	-3
-15	-11	-4	-19	-20	-13	-10	-10	3	0	4	-3	軽量形鋼C形		1	19	5		25	-16
-10	-9	0	-9	-20	-5	-18	-14	-15	5	-5	-9	軽量形鋼広巾			16	3		19	-16
39	28	17	9	7	3	23	0	29	22	44	41	冷延薄板	1	6	18			25	32
16	17	0	3	-12	-9	11	14	39	46	61	50	熱延薄板		10	18	1		29	31
58	56	30	16	-3	-6	35	31	47	53	73	59	表面処理鋼板	1	15	12	2		30	50
85	57	52	32	9	14	45	31	64	69	76	80	酸洗鋼板	1	13	15			29	52
23	14	0	-13	-11	-5	10	10	46	53	76	55	中板		12	23	3		38	24
10	-3	-6	-8	-19	-19	-5	3	29	21	18	21	厚板		5	29	2		36	8
5	-6	-6	-19	-7	-18	0	5	17	0	-7	6	極厚板		1	14	2		17	-6
3	-7	0	-6	-11	-9	-6	3	20	6	-4	3	縞板		1	25	3		29	-7
-23	-6	-19	-16	-28	-14	-15	-3	0	3	7	0	中径角		2	26	6		34	-12
-12	0	-9	-15	-23	-13	-16	5	0	8	-3	3	ガス管黒		2	26	5		33	-9
-9	3	-9	-11	-21	-18	-20	-3	3	3	-3	-3	構造用鋼管		1	28	6		35	-14
7	4	-1	-9	-14	-10	1	3	15	21	22	18	計	4	86	443	60	1	594	5

## 6. 価格転嫁なかなか進まず

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交せて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	地域の基幹産業は低迷しており、経済環境としては悪いがエネルギー関連や酪農などの補助金絡みの仕事は多く、建設業界は良い。
	B	季節要因から荷動きは盛上りに欠けている。メーカー値上げの転嫁を早急にしなければ採算悪化が深刻化している。
	C	丸棒の単価は北海道が突出している。小口は80円を超えた市況形成をせざるを得ない。大幅な値上げに向け、至急整えている状況。
東北	A	物件が少ない中、リニア問題でスーパーゼネコンの物件取り消しも出始めた。これからどうなるのか。
	B	仕事の偏りが目立つ。忙しいファブとそうでないファブの格差が大きい。価格転嫁が思うように進まない。一次加工は忙しい。
	C	荷動きが悪く、業績が悪化している。メーカー値上げに伴い、値上げしているが全く売れない。
新潟	A	需要は堅調。降雪の影響で納入や工事の遅れが出て販売は減少している。3月以降は建築主体で増加傾向である。価格面においては、仕入上昇を転嫁するもメーカーとのギャップは埋まらない。
	B	価格転嫁は小刻みに行っている。荷動きは悪くない。値上げの玉も入荷している。引き続き様子を見ながら価格転嫁を進める。
	C	冬場の環境もあり、1～2月は盛上りに欠けた。その中、メーカーの急激な値上げに単価が追いつかず粗利を圧迫している。単価の修正が喫緊の課題であり、春先の需要に期待している。
	D	価格転嫁は進んでいない。
	E	需要はどの業界も堅調だが、メーカー値上げに販価が追いつかない。粗利の低下が顕著である。
	F	需要は相変わらず低調だが、鋼材仕入価格は高止まっている。在庫販売はある程度利益が出るが、それでもメーカー値上げ分の更なる値上げが必要である。
	G	加工製品(切板、コラム)は価格転嫁が遅れている。
神奈川		メーカー値上げに追従できない。4～6月の需要動向は1～3月に対し業界により濃淡あり。トラック業界は好調。
東京	A	自動車をはじめとする大口ヒモ付きが好調だが、一方、店売り市場は一服感が強まっている。在庫回転が悪くなり、僅かながら在庫が増加した。満足な仕事量がないため価格転嫁は遅々として進まず赤字基調となっている。
	B	価格転嫁をしっかりと進めていきたい。
	C	(鋼管) 2月末から3月にかけて荷動きは低調。メーカー値上げにより強含み推移も上伸力はない。
	D	需要家は全般に好調をキープしている。店売りの同業者からの引合いはさほどなく、もったり感を受ける印象である。今回のアメリカ輸入制限措置はどう国際マーケットに影響が出てくるのか。
	E	需要はあるものの出荷量の伸びにスピード感がない。加工、施工、運送などの能力不足か。メーカーの思惑ほどタイト感は生まれないので、値上げ転嫁には時間を要する。

東京	F	表面処理鋼板は店売り（特約店売り）では荷動きが停滞している。エンドユーザー向けは正月休みなど稼働日の関係で12月、1月と荷動きが悪く感じられた。2月中旬より回復しており、年度末に向けて増加すると思われる。いずれにしても高炉メーカーの更なる値上げを受けているので、市況、販売価格を上げていかなければ赤字を解消できない。
	G	2月はスポット受注、加工製品が好調。3月に入り、一般鋼材の販売は失速、需要家筋に大きな変化はないものの出荷量減少。メーカー値上げに対し、店売りマーケットは値上げが鈍化している。
	H	3月に入り、建築物件が好調。
	I	2月は前月より数量は増えた。これは稼働日数の関係である。低調、横這いの状態が続いている。再販価格の転嫁が急がれる状況。
静岡	A	建築関連は需要となる数量分母が大きくS、H、Mグレードファブには余裕すら感じる。それでも2020年以降のピーキーな状況を既に危惧しているトップも多いが、営業利益、経常利益を伺えば軒並み数億円単位で羨ましい限りである。その一方で受注激減、競争激化、人手不足などの原因により老舗と言われる建設業者において不良債権がちらほら散見される。流通業界再編が加速しているが、既に内外のビックマーケットに力を見せ付けている状況の中、上流へ上流への展開は「店売り」を死語にさせるのではないかと。
	B	ファブからの発注がほぼ毎回同じタイミングで行われている。漸く案件が出てきたと思うと重なってしまいオーバーフローしてしまう。
	C	大型建築物件の発注が遅れたためか形鋼の荷動きは停滞気味である。中小需要家向け案件が少ない。4月以降の仕事量に若干不安がある。
石川		37年振りの大雪で2月前半は配送も入荷も半減となった。隣県の福井はもっと大変だったはずである。北陸新幹線の工事も2ヶ月近い遅れになっている。JR西日本は完全運航日が数えるほどしかなく、公共交通機関の対応力に大変不満が残る事態であった。何かにおびえている感じがする。それに比べると新幹線は頼りになった。大阪まで休みなく着工すべきの声が今後更に大きくなるだろう。
富山		4月1日からの値上げスピードが本格的に広がりつつある。北陸電力も4月1日から8%前後値上げする。全産業で値上げムードが重なり、交渉しやすくなりつつある。
岐阜		建築関連を中心に堅調に推移しているが、タイト感もなく需給は安定している。中径角のメインサイズの入荷遅れはまだ解消されていない。決算月に入り、産業機械、建産機など、需要動向にも落ち着きが見受けられる。設備関連の仕事は堅調に推移している。
愛知	A	建築物件はしっかりあると耳にするが現実の動きは全く冴えない。板類の不足感も荷動きの低調さがあまり目立たなくしているのかと思ってしまう。4月以降の動きに期待したい。
	B	今、現在は年度末需要でそれなりに動いてはいるが、絶好調とはいえない。自動車ほか設備関係が需要を支えている。しかし、4月以降が心配である。自動車は例年通り調整に入るし、そのほかにも現在の政治情勢がどう転ぶかによって変わるであろう。

愛知	C	T社関連の建築案件は今年より来年の方が多いが、今年秋以降の材料はこれから出てくる。準大手ゼネコンに手が空いているところがある。年度末のため全体的に需要が出ている。仕入価格が上っているが、販売価格をしっかりと把握しないと転嫁できない。
	D	集購は特殊要因もあり、かなり減少している。課題は工賃の改定、特にエキストラと配送費である。鋼製家具は12月1月に比し前年同月比はよくない。期ずれ等もあるのではないかと。4月以降に出てくることを期待。全体として販売重量は微減、配送コストが急騰、外注工賃も上る傾向。会社維持発展のため値上げの転嫁が急務である。トランプ大統領の政策の影響が読めない。人為的に相場が影響を受けるのではと心配している。
大阪	A	年度内のメーカー値上げが出揃ってきたため、再販への価格転嫁が本格化している。荷動きは悪いが価格転嫁優先の動きになりそう。
	B	1月中旬以降、荷動きは落ち着いている。今後、メーカーの高値玉が入ってくるが、各社販売価格への転嫁に苦労している。
	C	目立った大型物件はなく、中小物件が中心で全般に荷動きは今ひとつである。今年は特に公共土木工事物件が少ないように感じる。相続税対策のアパート建築もほぼ一巡した感じで住宅、貸家の建設も落ち込んできた。一方で来年の消費税増税を見込んだ大型宅地造成の動きはあちこちで散見される。
北九州	A	荷動きは横ばいで引合いも低調に思われたが、足元のスクラップが強含みに転じており、小康状態である。高値玉も入荷してきており、運賃経費も上がり価格転嫁実行中である。
	B	1～3月は10～12月の反動で暇なため、メーカー値上げが反映されず相場は横這いで先々の収益に懸念大である。運送は窮屈でスポット手配がつきにくく車自体がないとの回答が多い。船便も同様にメーカー入荷も良くない。暇な割にミルシート、出荷証明等の雑務に振り回されている。最近は複数枚提出の要求が増えており閉口している。
	C	2月以降、鋼材の荷動きは悪く苦戦している。
福岡		2月度は年度末に向けて、かなり仕事が集中した。特に現場作業での現地注文があり、納期に追われる状況であった。また、半導体、自動車を中心に忙しさは、今年1年続きそうである。建築案件は2月中旬頃から少し落ち着いてきている。材料は鉄、ステンレスなど値上げの方向なので少し心配である。